

公益財団法人浜松市医療公社第7期（令和元年度）事業活動報告について

1 事業概要

第7期（令和元年度）は、公益財団法人移行の7年目として地域医療連携の強化と専門外来の充実並びに救急患者・紹介患者の積極的な受け入れを行うための院内体制を強化することにより、患者数の増加を図るとともに、施設基準の新規及び上位基準の取得など、経営改善の取り組みを行った。

また、がん診療の推進に向けた取り組みとして、がんゲノム医療連携病院として、遺伝子検査を実施できる体制の構築と患者の負担が少ない低侵襲の手術を可能とする手術支援ロボット（ダビンチ）の導入に向けた体制の整備を行った。

2 主な事業内容

（1）入院に関する業務

令和元年度は、救急患者や紹介患者を断らない受け入れ体制の強化並びに平均在院日数の適正化を図り、平成30年度入院患者延べ数より3,885人減少の185,418人となり、令和元年度計画値を5,634人下回った。一方、平均在院日数は、平成30年度より0.7日短縮し12.7日となった。

また、7対1入院基本料を維持するため、「重症度、医療・看護必要度」の基準（30%以上）を満たすよう手術を必要とする患者の受け入れ強化や定期的に入院期間のチェックを行う等、適切な病床管理に努め、年間平均31.4%を達成することができた。

項目	R1年度計画 (A)	R1年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	H30年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
入院患者延べ数	191,052人	185,418人	97.1%	189,303人	△3,885人
1日平均入院患者数	522人	507人	97.1%	519人	△12人
病床利用率	87.0%	84.4%	97.0%	86.4%	△2.0P
平均在院日数	13.5日以下	12.7日	—	13.4日	△0.7日

〈前年度と比較して増減のあった主な診療科〉

診療科	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増減 (A-B)
総合診療内科	2,448人	0人	2,448人
内分泌・代謝内科	5,960人	3,647人	2,313人
耳鼻いんこう科	5,682人	4,579人	1,103人
呼吸器内科	18,764人	23,509人	△4,745人
感染症内科	3,064人	5,158人	△2,094人
整形外科	20,492人	22,094人	△1,602人

(2) 外来に関する業務

歯科口腔外科、眼科、血管外科の専門外来の充実を図ったとともに、病診連携の円滑な推進のため、総合診療内科の外来機能を発揮し、紹介患者を断らない体制の取り組みを継続した。その結果、平成30年度外来患者延べ数より5,654人増加の252,154人となり、令和元年度計画値を12,154人上回った。

項目	R1年度計画 (A)	R1年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	H30年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
外来患者延べ数	240,000人	252,154人	105.1%	246,500人	5,654人
1日平均外来患者数	1,000人	1,051人	105.1%	1,010人	41人

〈前年度と比較して増減のあった主な診療科〉

診療科	令和元年度 (A)	平成30年度 (B)	増減 (A-B)
歯科口腔外科	14,631人	12,871人	1,760人
眼科	10,138人	8,507人	1,631人
血管外科	2,382人	1,553人	829人
救急科	6,958人	8,202人	△1,244人
循環器内科	17,251人	17,960人	△709人
産婦人科	18,598人	19,161人	△563人

(3) 救急医療に関する業務

夜間救急など一次救急医療を担当する関係医療機関との連携を図り、二次救急医療及び三次救急医療の提供体制を維持するとともに、24時間365日断らない救急医療を目指し院内体制を強化したが、熱中症患者の減少による影響もあって、平成30年度救急搬送受入患者数より54人減少の6,512人となり、令和元年度計画値も同様に88人下回った。

また、救命救急センターの効率的な病床管理により、救命救急センターの新入院患者数は平成30年度より21人増加の1,407人となった。

項目	R1年度計画 (A)	R1年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	H30年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
救急搬送受入患者数	6,600人	6,512人	98.7%	6,566人	△54人
救急搬送患者応需率	90.0%	88.3%	98.1%	88.2%	0.1P

(4) 小児・周産期医療に関する業務

地域の周産期医療を担う拠点病院として、積極的に分娩の受け入れを行ったが、浜松市出生数の減少の影響及び当院の分娩シェア率の減少もあり、平成30年度分娩件数より112件減少の863件となり、令和元年度計画値も同様に187件下回った。

分娩の選択肢を広げ、また、集客力の向上に繋げる取り組みとして、浜松医科大学病院の麻酔科医局の協力を得て、麻酔科医師、産婦人科医師及び助産師がチームで行う無痛分娩を実施する体制の構築を行った。

また、浜松市の休日当番診療のうち小児一次救急について、当院にて月1回の診療を実施し、浜松市の小児救急体制の一端を担った。

このほか、アレルギー疾患拠点病院として、医療従事者を対象とした研修会を開催し、関連する診療科との連携を深め、質の高い医療の提供ができるよう努めた。

項目	R1年度計画 (A)	R1年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	H30年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
分娩件数	1,050件	863件	82.2%	975件	△112件

(5) がん診療に関する業務

地域がん診療連携拠点病院の継続指定を受け、手術、放射線治療などによる質の高い診断、治療の提供、外来化学療法室を活用したがん診療を実施した。

また、がんゲノム医療連携病院として、ゲノム診療センターを設置し、遺伝子パネル検査を実施できる外来診療体制の構築を行った。

このほか、がん患者支援の充実のために、支持療法、緩和ケア、就労支援等の提供を推進するとともに、地域の歯科医師会と連携し、がん患者の周術期における専門的な口腔ケアの提供体制を強化し、チーム医療の推進を図った。

項目	R1年度計画 (A)	R1年度報告(B) (H30年1~12月)	計画達成率 (B)/(A)	H30年度報告(C) (H29年1~12月)	増減 (B)-(C)
院内がん登録数	950人以上	947件	99.7%	900件	47件

項目	R1年度 計画(A)	R1年度 実績(B)	計画達成率 (B)/(A)	H30年度 実績(C)	増減 (B)-(C)
悪性腫瘍の手術件数	550件	597件	108.5%	586件	11件
がんに係る薬物療法のべ患者数	1,400人	1,711人	122.2%	1,151人	560人
がんに係る放射線治療のべ患者数	200人	201人	100.5%	180人	21人
周術期口腔機能管理計画策定料 算定件数	400件	574件	143.5%	463件	111件
緩和ケアチーム新規介入件数	210件	231件	110.0%	213件	18件
がん患者指導管理料算定件数	800件	1,084件	135.5%	824件	260件

(6) 脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病診療等の専門医療に関する業務

手術件数は、眼科、歯科口腔外科、血管外科、耳鼻いんこう科の件数が増加したことにより、平成30年度と比較して363件増加の6,494件となり、令和元年度計画値を494件上回るとともに、全身麻酔件数も平成30年度より110件増加した。

また、患者の負担が少ない低侵襲の手術を可能とする手術支援ロボット（ダビンチ）を新たに導入し、高度医療の提供体制の整備に努めた。

このほか、令和2年1月から高気圧酸素治療を開始し、突発性難聴や難治性潰瘍等の患者に対して効果的な治療を実施した。

項目	R1年度 計画(A)	R1年度 実績(B)	計画達成率 (B)/(A)	H30年度 実績(C)	増減 (B)-(C)
手術件数(手術室)	6,000件	6,494件	108.2%	6,131件	363件
全身麻酔件数	2,200件	2,425件	110.2%	2,315件	110件
腹部大動脈瘤に対するステントグラフト 手術件数	25件	10件	40.0%	22件	△12件
経皮的カテーテル心筋焼灼術件数	150件	186件	124.0%	180件	6件
人工関節置換術(股・膝)件数	165件	161件	97.6%	160件	1件

(7) 臓器・骨髄移植に関する医療

院内臓器提供チームを編成し、臓器移植コーディネーターと連携を図りながら、令和元年度は1月と3月の2症例の臓器提供を実施(累計10症例)し、生前の患者本人、家族の意思表示を尊重した移植医療に貢献した。

(8) 健診センター事業に関する業務

生活習慣病の予防のため、特定健康診査(特定健診)・特定保健指導を実施するとともに、地域住民の胃がん検診に対して、内視鏡(胃カメラ)検査及び人間ドックの受け入れの強化を図り、疾患の予防、早期発見を推進した。

また、子育て、介護、仕事、家事などで多忙な女性が、乳がん検診を受けられるジャパン・マンモグラフィーサンデーへの参加し検診を実施した。(10月に2回実施)

項目	R1年度計画 (A)	R1年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	H30年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
特定健診	16,130人	16,286人	101.0%	15,888人	398人
(再掲)人間ドック	760人	759人	99.9%	687人	72人
胃がん検診	7,460人	7,602人	101.9%	7,402人	200人
大腸がん検診	10,430人	11,174人	107.1%	10,672人	502人
結核肺がん検診	15,780人	15,940人	101.0%	15,626人	314人
子宮がん検診	3,330人	3,473人	104.3%	3,482人	△9人
乳がん検診	2,460人	2,609人	106.1%	2,481人	128人

(9) 地域連携に関する業務

新規に開業された先生方を訪問し、当院の特徴や新規治療の紹介を行い、診療機能の広報を図り、医療連携体制の強化並びに患者の確保に努めた。

また、紹介率・逆紹介率の向上を図るため、総合診療内科の体制を整備し、紹介患者を積極的に受け入れるとともに、病状が安定した患者の逆紹介が円滑に進むよう、診療情報提供書の記載の徹底に努めた。

このほか、退院支援職員と外来看護師及び病棟看護師との連携を深め、入院早期から福祉等の関係機関との調整を図り、患者への支援体制の充実に努めた。

項目	R1 年度計画 (A)	R1 年度実績 (B)	計画達成率 (B)/(A)	H30 年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
紹介率	78.0%以上	77.4%	99.2%	76.9%	0.5P
逆紹介率	70.0%以上	81.5%	116.4%	71.2%	10.3P
入退院支援加算算定数	3,000 件	4,347 件	144.9%	3,636 件	711 件

(10) 臨床研究に関する業務

臨床研究管理センターを充実し、臨床研究法により、新たな特定臨床研究の新規受託件数の増加に努めるとともに、各学会、臨床研究グループで実施される臨床研究に積極的に参加し、症例登録等の推進を図った。

また、「とおとうみ臨床試験ネットワーク」や「静岡県治験ネットワーク」への継続的な参加等、治験実施件数の増加や臨床研究の促進に努めた。

(11) 医療安全、医療の質の向上に関する業務

ア 医療安全推進委員会を定期的開催し、報告されたインシデント・アクシデント・オカレンスレポートを基に情報収集と分析、再発防止策立案、発生予防、事象の影響拡大防止に努めた。

イ 医療安全の対策が各部門で実践されているか安全ラウンドを実施し、対策実施後の成果の評価を行い、フィードバックすることにより継続した医療安全活動を行った。

また、定期的な医療安全ニュースの発行配布や職員一斉メール配信により、医療安全情報の提供を行った。

ウ 医療安全文化の醸成のために、職種横断的な職員教育・研修を企画、実施、実施後評価と改善を行った。全職員が、医療安全について自らのこととして考え、医療現場から積極的に取り組めるよう、e-Learning 研修及び TeamSTEPPS 研修を開催し、安全意識を向上させるための教育活動を実施した。

エ 高リスク手術・処置を実施する際の院内体制の運用を継続し、事前に治療適応、インフォームド・コンセントの内容、術中・術後の体制等を把握するとともに、組織として支援を行った。

オ 入院患者への安全な薬物療法の提供に努めるため、令和元年 11 月より薬剤師を病棟に常駐配置し、持参薬の管理等と医療安全対策の強化を図った。

(1 2) 医療スタッフの確保・育成に関する業務

「救急医療」「がん医療」「高度専門医療」等の水準を維持・向上させるため、大学等関係機関との連携の強化や教育研修の充実により、医師の育成、確保に努めた。

また、必要な看護師の確保のため、合同就職説明会及び学校説明会への積極的な参加や各看護師養成施設への学校訪問など、広報活動を継続して実施するとともに、看護学生臨地実習受け入れ校の拡大やインターンシップ、病院見学会及び高校生1日ナース体験事業等における開催内容の充実を図り、必要かつ優秀な看護師確保の強化に努めた。

このほか、創傷管理、栄養及び水分管理に係る薬剤投与等の専門的技術を要する特定行為看護師の研修を受講させ、養成に努めた。

(1 3) 患者の療養環境の向上に関する業務

看護補助者の増員を図り、入院患者の日常生活への関わりを拡充し、良好な医療サービスの提供に努めた。

また、患者支援センターの入院前支援スタッフと外来看護師が連携し、入院を予定している患者に対して安心して入院医療が受けられるよう、外来において入院期間中の治療計画等の説明の実施に努めた。

(1 4) 収入の確保と費用の節減に関する業務

ア 収入の確保

- ①診療報酬請求に関わるコンサルタントと各部署とが協力し、各種指導料等の算定件数増加に向けた取り組みを行い、約 27,500 千円の収入増加を図った。
- ②薬剤師を病棟に常駐配置し、効率的な病棟薬剤業務を展開するとともに、「病棟薬剤業務実施加算」の施設基準を取得し、約 11,250 千円の収入確保を図った。
- ③子宮体がん・卵巣がんの抗がん剤治療を、診療報酬からの試算と週末の病床利用率向上の観点から入院加療への移行を図り、約 3,000 千円の収入増加を図った。
- ④高気圧酸素治療装置を導入し、入院・外来患者に効果的な治療を開始し、約 5,200 千円の収入増加を図った。

イ 費用の節減

院内各部署における定数配置薬の整理を行い、管理を充実させることにより、医薬品購入費の削減を図った。また、医薬品や診療材料の調達に関して、ベンチマークシステムを活用して価格交渉を行うことにより、購入価格を約 45,000 千円削減した。

項目		R1 年度計画 (A)	R1 年度実績 (B)	H30 年度実績 (C)	増減 (B)-(C)
給与費対医業収益率		51.4%以下	51.2%	51.6%	△0.4P
材料費対医業収益率		26.1%以下	28.6%	26.4%	2.2P
主な内訳	薬品費	15.1%以下	17.7%	15.8%	1.9P
	診療材料費	10.1%以下	10.1%	9.8%	0.3P

(15) 新病院建設に関する業務

新病院準備室と開設者である浜松市及び設計・施工者と連携を図りながら、将来の当院のあり方を反映した基本設計レイアウトの完成及び次の段階となる実施設計レイアウトの見直しを行った。

(16) 医療と介護の連携推進事業の支援に関する業務

医療と介護の連携推進事業を支援するとともに、地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携強化に努めた。

(17) 職員の子ども及び地域の子どもに対する保育の提供に関する業務

看護師をはじめとする医療従事者の離職防止と子育て・仕事の両立支援、並びに地域における待機児童の解消を図るため、地域型保育事業の認定を受けたあゆみ保育園において、職員の子ども及び地域の子どもに対する保育の提供を行ったとともに、公立病院として地域を含めた働きやすい環境整備に努めた。

3 役員会開催実績

(1) 評議員会

① 第1回定時評議員会

日 時	令和元年6月28日(金) 午後1時30分
議事等	・理事の選任について ・監事の選任について

② 第1回臨時評議員会

日 時	令和2年3月23日(月) 午後1時30分
議事等	・第7期(令和元年度)補正予算(第1号) ・令和2年度浜松医療センターの管理に関する年度協定書の締結について ・第8期(令和2年度)事業計画について ・第8期(令和2年度)収支予算 ・理事の辞任に伴う補欠選任について

③ 第2回臨時評議員会(決議の省略)

日 時	令和2年3月30日(月)
議事等	・理事の辞任に伴う補欠選任について

(2) 理事会

① 第1回定例理事会

日 時	令和元年6月10日(月) 午後1時30分
議事等	・定時評議員会の招集について ・第6期(平成30年度)事業報告(案)について ・第6期(平成30年度)決算(案)について ・理事の任期満了に伴う候補者の推薦について ・監事の任期満了に伴う候補者の推薦について ・職員の職名を定める規程の一部改正について ・職員給与規程の一部改正について ・評議員会運営規則の一部改正について

② 第1回臨時理事会(決議の省略)

日 時	令和元年6月28日(金)
議事等	・理事長の選定について ・副理事長の選定について ・常務理事の選定について ・財産管理責任者の任命について ・資金運用執行責任者の任命について ・顧問の選任について ・役員等の報酬について

③ 第2回定例理事会

日 時	令和元年9月13日（金）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員就業規程の一部改正について ・特定業務職員に関する規程の一部改正について ・資金運用規程の一部改正について ・浜松医療センターあゆみ保育園運営規程の一部改正について

④ 第3回定例理事会

日 時	令和元年12月13日（金）午後3時00分
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・職員給与規程の一部改正について ・職員退職手当支給規程の一部改正について ・継続雇用職員に関する規程の一部改正について ・浜松医療センターあゆみ保育園運営規程の一部改正について

⑤ 第4回定例理事会

日 時	令和2年3月6日（金）午後1時30分
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回臨時評議員会の招集について ・第7期（令和元年度）補正予算（第1号） ・第8期（令和2年度）事業計画について ・第8期（令和2年度）収支予算 ・令和2年度資金運用の執行方針及び計画について ・理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について ・浜松医療センター組織規程の一部改正について ・事務局組織規程の一部改正について ・事務分掌規則の一部改正について ・専決規則の一部改正について ・社印規程の一部改正について ・文書取扱規程の一部改正について ・個人情報保護規程の一部改正について ・職員の職名を定める規程の一部改正について ・職員給与規程の一部改正について ・職員給与規程施行規則の一部改正について ・浜松医療センター院長の職務を代理する院長補佐の順序等及び院長補佐の事務分担を定める規則の一部改正について ・浜松医療センター副院長の事務分担を定める規則の一部改正について ・令和2年度浜松医療センターの管理に関する年度協定書の締結について

⑥ 第2回臨時理事会（決議の省略）

日 時	令和2年3月26日（木）
議事等	<ul style="list-style-type: none"> ・第2回臨時評議員会の招集について ・理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について

4 役員等に関する事項

(1) 理事及び顧問（令和2年3月31日現在）

役 職	氏 名	現職等
理事長	山下 堅司	公益財団法人浜松市医療公社理事長
副理事長	海野 直樹	浜松医療センター院長
常務理事	小澤 享史	浜松医療センター院長補佐
常務理事	西脇 由朗	浜松医療センター院長補佐
常務理事	鈴木 達夫	公益財団法人浜松市医療公社事務局長
理事	山本 清二	国立大学法人浜松医科大学理事・副学長
理事	林 卓司	一般社団法人浜松市医師会副会長
理事	小杉 和弘	浜松商工会議所専務理事
理事	小出 幸夫	医療法人社団一穂会理事
理事	新村 隆弘	浜松市健康福祉部医療担当部長
顧問	小倉 篤	前浜松市議会議員

(2) 評議員（令和2年3月31日現在）

役 職	氏 名	現職等
評議員	滝浪 實	一般社団法人浜松市医師会会長
評議員	大野 守弘	一般社団法人浜松市歯科医師会会長
評議員	品川 彰彦	一般社団法人浜松市薬剤師会会長
評議員	鈴木 敏弘	弁護士
評議員	藤田 正治	浜松商工会議所副会頭
評議員	朝月 雅則	浜松市健康福祉部長
評議員	西原 信彦	浜松市健康福祉部保健所長

(3) 監事及び会計監査人（令和2年3月31日現在）

役 職	氏 名	現職等
監事	田中 範雄	公認会計士・税理士
監事	那須田 政廣	浜松市会計管理者
会計監査人	疋田 通丈	公認会計士・税理士

5 職員に関する事項

＜職種別職員数：前年度比較＞

職種	令和元年度末	平成30年度末	比較増減
医師	111人	105人	6
専修医	27人	28人	△1
臨床研修医	23人	30人	△7
保健師	32人	33人	△1
助産師	61人	57人	4
看護師	472人	463人	9
薬剤師	37人	33人	4
診療放射線技師	28人	26人	2
臨床検査技師	36人	33人	3
臨床工学技士	11人	11人	0
管理栄養士	8人	7人	1
理学療法士	15人	13人	2
作業療法士	7人	7人	0
言語聴覚士	2人	2人	0
臨床心理士	1人	1人	0
視能訓練士	2人	2人	0
歯科衛生士	3人	3人	0
医学写真技師	0人	0人	0
診療情報管理士	3人	3人	0
事務員	56人	59人	△3
医療社会事業士	8人	8人	0
保育士	11人	10人	1
電気技師	1人	1人	0
業務員	5人	6人	△1
合計	960人	941人	19人

6 労働関係法令について

労働関係法令に基づき、適正に業務を履行しました。